

図書館だより

2023年1月
Vol.18
大分県立看護科学大学
図書委員会



◆◆◆ ご挨拶 ◆◆◆

附属図書館長 福田 広美

新年、おめでとうございます。2023年は「卯（うさぎ）」年です。兎は跳ねる特徴があるため、卯年は縁起の良い年として知られています。2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミックは今年4年目になります。1月の感染者数は未だ厳しい状況にはありますが、感染防止に努めながらウィズコロナからポストコロナへと、飛躍的な年になることを願っております。1月の図書館だよりは、皆さんが飛躍的な年にするうえで、様々なヒントになる図書をご紹介します。私たちの健康に役立つ図書をはじめ、仕事や人生、名画まで、幅広いテーマの魅力的な本です。是非、図書館に足を運び、一冊でも多くの本に出会い、今年一年を飛躍的な年にされることを期待しております。

◆企画展示紹介 <皆さんにおすすめしたい図書を集めて図書館入口に展示しています>



◆公開講座講師 小林弘幸先生著作 <新刊コーナー展示しています>



9月に行われた公開講座で講演をしてくださった小林弘幸先生の本を新刊コーナーに展示しています。貸出もできますのでぜひご利用ください。

◆事務局 教務学生グループ 原田千夏さん おすすめ図書

新刊コーナー横のワゴンに展示しています



今回は「働く」ということにフォーカスして本を選んでみました



ちょっと今から仕事やめてくる
北川恵海【著】 KADOKAWA



一冊目は、映画化もされた小説「ちょっと今から仕事やめてくる」まず、タイトルが素敵ですね。「辛いときは最初からやり直せばいい」そんな気持ちになれる本です。ブラック企業で働く主人公隆は、線路に飛び込みそうとしたとき同級生を名乗る男「ヤマモト」に助けられます。少しずつヤマモトに救われていく主人公。でも、「ヤマモト」は本当に同級生なのか。調べれば調べるほど、謎が深まっていきます。引き込まれるストーリー、そして最後は涙…。素敵な本です。ぜひ読んでみてください。

「福」に憑かれた男
喜多川 泰【著】 サンマーク出版



二冊目は、「福に憑かれた男」この小説は、福の神様に憑かれたある青年の話です。福の神様が応援してくれる人には、実は、条件があります。そして福の神様がしてくれることは、幸せにしてくれることではありません。みなさんに辛いことや苦しいことが起こっているなら、それはもしかしたら福の神様が引き起こしていることかもしれません。喜多川泰さんの本はあとがきも素敵です。ぜひあとがきまで読んでくださいね。

◆図書館職員 おすすめ図書 <新刊コーナー展示しています>

図書館からは芸術に関係する本をおすすめします



中野智子さん

366日の西洋美術—1日1ページで世界の名画がわかる
瀧澤秀保【監修】 三オブックス



1日1作品ずつ鑑賞しながら、世界の名画がわかる本です。1週間で7つのテーマに沿って解析、推理しています。時代背景や画家の思いを知ると、今まで見えなかったものが見えて来て、何倍も楽しく鑑賞することができます。見覚えのある絵画から、初めて見る絵画まで、絵画にあらわれる様々な要素に思いをはせながら新しい視点で楽しく鑑賞してみてください。

岸田美由紀さん

終止符のない人生 反田恭平【著】 幻冬舎



ショパン国際ピアノコンクールで2位となった反田恭平さんのエッセイです。ピアノは趣味で夢はプロサッカー選手だった子ども時代から、努力し音楽家としてどんどん成長していく姿に圧倒されます。人との出会いを全てチャンスにかえ、本書の終盤に近付くとピアニスト反田恭平だけでは留まらない情熱溢れる思いを強く感じられます。読了後にショパンピアノコンクールの映像(YouTube)を見るとさらに感動しますよ！

白川裕子さん

世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？
—経営における「アート」と「サイエンス」 山口周【著】 光文社



論理的な思考は大切ですが、それだけに頼ると画一的な考え方となってしまいます。経営が行き詰まる原因はそこにあり、それを避けるために美意識を鍛え、自分なりの基準を持って物事を判断することが大切である、とこの本では説かれています。深い内容ですが文章が非常によみやすく、哲学や芸術が経営だけでなく、生きていくうえで欠かせないものであることがよくわかります。今の時代に即した新しい考え方に触れられ、未来につながる指標となるような素晴らしい一冊です。多くの人の手に届くことを願っています。

◆大型絵本の活用

図書館には読み聞かせ用の大型絵本があります。大分の子育て中のパパたちが集まるサークル「おおいたパパクラブ」で活動中の精神看護学研究室後藤成人先生が、図書館の大型絵本を使って地域の子どもたちに読み聞かせを行いました。子どもたちも先生のおはなしに大喜びで、大きい絵の迫力を楽しんでくれたようです。大型絵本は学生の実習先の病院やデイケア施設での読み聞かせにも利用されています。図書館では今年度もあらたに4冊の大型絵本を購入しました。読み聞かせなどでご利用になりたい方は図書館カウンターまでお越しください。



読み聞かせする
後藤成人先生



いろいろな動物が次々にジャンプする絵本『びよーん』。
小さな子ども“びよーん！”の掛け声に合わせて、
お母さんに高く抱えあげてもらっていました



「はらべこあむし」に
赤ちゃんも興味津々です

今年度購入した大型絵本

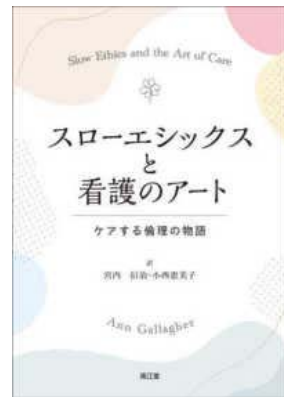


・だるまさんが
・だるまさんの
・だるまさんと
かがくいひろし【作】
ブロンズ新社



・やさいさん
tupera tupera【作】
学研教育出版

◆言語学研究室 宮内信治先生翻訳書籍のご紹介



2005-2008年:看護アセスメント学講座 現:鹿児島大・医・客員研究員 小西 恵美子先生

皆様、お元気ですか。大分時代以来の友人・宮内先生と上梓したスローエシックスの訳書を図書館に収めて頂き感謝いたします。私にとって、実習中の大分の学生達は宝のような思い出です。無言の患者の手をさすり足をさすり、そのひた向きさ。知識や技術はまだまの最終日、患者から「あんたがおってくれたおかげや」と言葉の贈り物を頂いて流す感動の涙。彼らが見せてくれた美しいスローなエシックスとは対照的に、我々教員は、「もっとテキパキできないの?」と、ファスト(fast)なエシックスに囚われていたようです。

言語学研究室准教授 宮内 信治先生

倫理、ethics という英語は、ギリシャ語 ethos「エトス:習慣的な精神、習慣的な行動様式」が元です。そこから「信頼」が生まれると古代ギリシャ人は考えました。看護、ケアの持つすばらしさを知ることを通して、ゆっくりと倫理観を育て養い、臨床現場に活かしてほしい、という思いが詰まった本です。知らないことやわからないことがあるのは当たり前。それを今から学んで身につける時間は、たっぷりとあります。ゆっくり深く考える時間と行為は「余暇」。school の語源は leisure(レジャー、余暇)なり。

『スローエシックスと
看護のアート
ケアする倫理の物語』
南江堂、2022
アン・ギャラガー著
宮内信治、小西恵美子訳

新刊コーナーに
展示しています。
ぜひ読んでみてください。

◆学生からのメッセージ

◆ 院生 楠元 あい さん ◆

私にとって本学図書館の魅力は3つあります。一つ目は、毎月メールで送られてくる新着図書一覧で新しい本を確認できる点です。最新の本をチェックできます。二つ目は、専門書の数がとても豊富な点です。本学の蔵書のおかげで、自分の専門である栄養の分野だけでなく新しく関心のある分野を見つけることができました。そして三つ目は、図書館スタッフの方々は何でも優しく対応して下さる点です。今年度入学したばかりのため、図書館の利用方法や文献取り寄せなど分からないことが多くありましたが、スタッフの方々のおかげで現在は不自由なく図書館を利用できています。これからもよろしくをお願いします。

◆ 2年生 呉 星美さん ◆

図書館が好きです。沢山の本が並んでいる空間の独特な香りや空気感がたまりません。入学して間もなくは、図書館で好きな小説を借りることが多かったのですが、ここ最近では、試験や課題のために本を借りることも増えました。様々な分野の課題に役立つ専門書が揃っていてとても便利です。また、案外と知られていないようですが、読みたい本があれば図書館のホームページからリクエストすることもできます。学生には手に届きにくい高額な専門書や気になるミステリー小説も仕入れてくれることがあります。皆さんも読みたい本があれば挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

◆学生時代にお世話になった一冊

<新刊コーナー横のワゴンに展示しています>

小児看護学研究室 橋本 志乃 先生

明日の子供たち 有川浩【著】 幻冬舎



大学生の時、本学図書館2階の1番右端の机をよく利用していました。小説コーナーが近いので、つい勉強の気分転換と称して多くの時間を読書に費やしましたが、その中で出会った「明日の子供たち」は特に印象に残っている大事な1冊です。児童養護施設が舞台のお話で、職員や子どもたちそれぞれの思いに感情移入しながら、深く、考えさせられます。あたたかく、心にとっすと入ってくる有川浩さんの本に、大学生の時も今も助けられています。

健康情報科学研究室 岡田 悠希 先生

夏への扉

ロバート・A・ハインライン【著】
福島正実【訳】 早川書房



学生の頃、印象に残ったのが本書です。1956年に発表された本書は掃除ロボットや製図ソフトなど今では当たり前となった技術が遥か未来の技術として登場します。人間の想像の先に未来があるならSF作品はこれからの未来の指針となるのではないのでしょうか。この作品は山崎賢人さんを主演に映画化もされているので興味のある人は是非。

◆図書館カレンダー（2023年1月～3月）

図書館では土日祝日に学部生・院生・卒業生を対象として休日開館を行っています。ぜひご利用ください。

スケジュールは変更する場合がありますので最新情報はホームページでご確認ください。

□ 9時～20時 □ 9時～17時 □ 9時～15時（入試準備のため） □ 休館日
■ 10時～18時（土日の開館日は学内者のみ利用可能です）

2023年1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※2月中旬～3月の間、休日開館は行っていません。

図書館だより Vol.18 2023年1月発行 大分県立看護科学大学図書委員会

大分県立看護科学大学附属図書館 TEL 097-586-4330 FAX 097-586-4373

E-mail: library@oita-nhs.ac.jp URL: http://www.oita-nhs.ac.jp/library/